

講座名（専門科目名）	医療データ科学共同研究講座	教授氏名	飛田 英祐
学生への指導方針	医学研究から質の高いエビデンスを得るために必要となる、科学的に適切な研究計画の策定、信頼性を保証できるデータ管理、試験結果を適正に解釈する統計解析等の医療統計リテラシーを身に付けることを目指しています。		
学生に対する要望	医療データサイエンスを支える統計学、疫学、生物情報科学および医療情報学の知識や技術など幅広い分野に興味を持ち、社会に貢献できるスキルを身に付けて欲しいと考えています。		
問合せ先	(Tel) 06-6210-8257 (Email) jimmu@bsds.med.osaka-u.ac.jp	担当者	横山 由佳
その他出願にあたっての注意事項等	事前に上記連絡先より、相談のアポイントメントを必ず取ってください。		

（以下教室紹介）

電子カルテやレセプト等の電子診療情報、患者レジストリデータなどのリアルワールドデータ（RWD）は医療実態を示す貴重な情報源であり、その利活用により新薬開発時の臨床試験規模の最適化、エビデンスの構築、安全性監視の高度化など、効率的な薬剤評価の一助を担う可能性を有しているため、近年注目されています。一方、RWDの適切な利用や結果の解釈の仕方については課題も多く、特に規制下でのRWDの利用については、その収集方法や品質などにおける多くの課題を克服する必要があります。

本講座では、大阪大学附属病院未来医療開発部データセンターおよび医学統計学講座と協力し、

- ・ RWDの品質に注視したデータの収集方法や管理方法の検討
- ・ 臨床試験データとRWDを統合した医薬品・医療機器の新たな評価方法の開発
- ・ RWDを用いた新たな臨床評価指標の探索

など、RWDの抱える諸課題を克服し、医療水準の向上・健康社会の実現に向けて貢献することを目的としています。